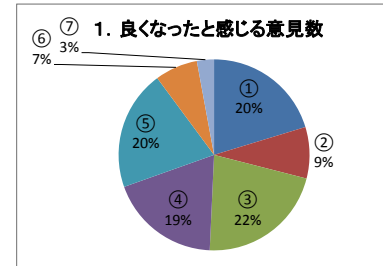


①住民協働組織が設立された後の状況

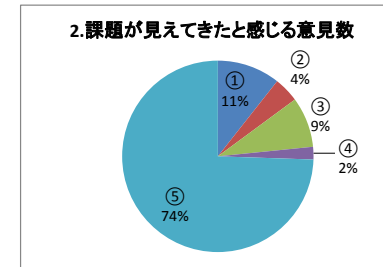
1. 良くなったと感じる意見数

回答数	番号	内容
14	①	広域的な行事が行える。また一団体ではできない事ができ、横のつながりができた。
6	②	協力者、行事参加者が増えた。
15	③	地域の課題解決に対す意識が高まり、取り組むことができた。 (今まで行政に要望しても実施できなかった事業)
13	④	住民間のコミュニケーション・交流が高まった。また情報共有ができた。
14	⑤	財政支援を受けることで、事業を実施する事ができた。
5	⑥	各団体の活動が活発になった
2	⑦	各団体の事業を理解できた
69		



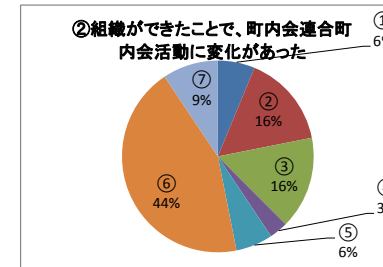
2. 課題が見えてきたと感じる意見数

回答数	番号	内容
5	①	役員が打ち合わせ等で時間的制約が多く大変である
2	②	各団体でできる事まで、協働組織で実施依頼がきたこと
4	③	協働の取り組みが理解してもらえないことで活動しづらい (町内会や連合町内会活動と協働組織の活動が同様である等、必要性が不明確)
1	④	各団体に気を使う
35	⑤	特になし
47		



②組織ができたことで、町内会連合町内会活動に変化があった

回答数	番号	内容
2	①	地域のさまざまな課題への取り組み姿勢が見えてきた
5	②	自治組織のあり方と現状・今後のあるべき方向性が明らかになってきた
5	③	各活動の幅が広がった
1	④	新たな取り組みをする場合スピーディになった
2	⑤	町内会の事業の見直しが図られた(夏祭り短縮、自主防災台帳整備促進)
14	⑥	町内会が積極的に参画・提案し住民交流の機会が増加
3	⑦	各住民がコミュニケーションをとる場が増えた
32		



③協働組織が出来たことで、実施された事業

内容
音楽祭
環境整備
防災訓練・防犯活動
福祉関係(健康・介護講座・認知症サポートチーム設立・除雪支援)
敬老会・救急カード・高齢者ふれあい旅行
住民交流事業の拡大
地域活動備品の購入
地域資源の存続
こども対象の事業(科学実験等)
こども見守り活動